

現状と課題

- ◆大阪市では、少子高齢化が一段と進行し、超高齢社会を迎えている。
(高齢者人口・割合
2012年:623千人・23.5%)
(合計特殊出生率2010年:1.21、
全国平均1.39を下回る)
- ◆労働力人口が減少し、現役世代の負担はさらに大きくなっている。
(生産年齢人口・割合
2005年:1,750千人・67.4%
⇒2012年:1,725千人・65.0%)
- ◆女性の労働力は、子育て期にあたる30歳代で低下している。
15歳以上の女性就業希望者は約17万人、全体の13.7%を占めており、働き続けたいのに、出産を機に退職する女性が多い現状である。
- ◆大阪の企業は東京や全国平均に比べて、女性管理職の割合が10%未満の企業が多く、女性の登用が進んでいない。
(女性管理職が10%未満の企業の割合:
大阪:84.4% 東京:77.9% 全国:81.1%)
- ◆地域の自治会活動や防災の分野など、地域での女性の参画促進が必要である。

現役世代の活力の底上げと、経済活性化につなげるためにも、社会や職場の意識を変え、女性の活躍の場を広げるとともに、女性はその能力を十分に発揮し、活躍できる環境整備への取組みが求められている。

右のプラン(素案)を作成
課題解決に向けて、



平成26～28年度の3カ年計画

大阪市 女性の活躍促進アクションプラン(素案)

3つの目標

①女性が働き続けられるまち

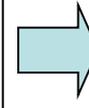
女性が結婚や出産を機に離職することがなく、一旦離職しても再チャレンジが可能であり、男女がともに子育てや介護を担いながら、多様な生き方を選択でき、働きつづけられる。
<必要な取組み>
☆女性の継続就労に取り組む企業を支援
☆子育て中の働く女性を支援 など

②活躍したい女性が希望をもてるまち

若者たちに、将来を考え可能性を広げられる機会があり、働く女性に、やりがいや充実感を感じながら働くとともにキャリアアップの機会があり、地域や職場で指導的地位をめざす女性が増える。
<必要な取組み>
☆女性の活躍を支援する企業の見える化
☆経営トップ層の意識改革
☆企業等で活躍する女性と若者を結ぶハブ的機能の構築 など

③地域で女性がいきいきと輝いているまち

地域社会の様々な場面で、女性ならではの視点が反映され、いきいきと活躍できる。
<必要な取組み>
☆地域防災における女性の参画
☆地域の方針決定過程への女性の参画
☆リタイア女性の活躍の場の提供 など



本事業により目標①・目標②を加速化

目的

大阪市における
「女性の継続就労」、
「企業等の女性役員・
管理職への登用」

の促進・加速化に向けて、

「企業調査」、
「マルチステークホルダー会議」
等を実施することにより、

「企業の経営トップ層や
企業側の認識や課題」

を明らかにし、
効果的な解決策につなげる。

2 事業内容(取組内容)

【1 行動計画の策定】

	7月	8月	9月	10月	11月～12月	1月	2～3月
企業調査	調査項目検討 調査票設計	アンケート 調査	集計・中間発表 プレスリリース (経済記者クラブ、 市政記者クラブ等)	ヒアリング調査 市民PR	分析・まとめ 市民PR		報告書作成・公表 プレスリリース (経済記者クラブ、 市政記者クラブ等)
マルチステーク ホルダー会議		参加者調整		第1回会議 (円卓方式)		第2回会議 (分科会方式)	「女性の活躍促進」 具体取組みへの連携
全体 コーディネート	第1回事業関係 者全体会議(事 前段階)	(適宜、実務的に調整)		第2回事業関係者 全体会議 (実施段階)	(適宜、実務的に調整)		第3回事業関係者全体会議 (事後段階)

